

(案)

サポートファイル

表紙・背表紙

- ①「サポートファイル」に名称を変更します
- ②装丁デザインを幅広い年齢層が持ちやすいものに変更します

はじめに

1. 「サポートファイル」とは

「サポートファイル」は、ご本人が**子どものときから大人になっても**ライフステージで途切れることなく、たくさんの方から支援を受けられることを目的に、ご本人と保護者の方が支援機関と情報を共有するためのファイルです。

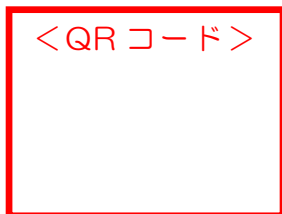
2. 「サポートファイル」のお役立ちポイント

- 乳幼児健診や母子手帳と一緒に使うことで、ご本人の発育や発達をまとめて**確認**することができます。
- 教育・就労等に関する相談や支援を受ける場合に役立ちます。
- 学年や生活の場などがかわっても、引き続き**支援が受けやすくなり**ます。
- 学校や病院などに相談するときに役立ちます。
- ご本人が子どものときから大人になっても、周囲の各機関から継続した支援を受ける場合に役立ちます。
- 関係者や支援者がご本人の個性や特徴、これまでの育ちなどを共通理解し、支援や手立てを共有することで、途切れることなく**支援が受けやすくなり**ます。

3. 「サポートファイル」の使い方について

- ご本人や保護者が大切に持ちましょう。
- ご本人や保護者の方が支援者の協力を得ながら一緒に作りましょう。
- 保護者の方がご本人の発育や発達が気になったら様子を書きましょう。

4. 相談先一覧はこちらをご参照ください



目次

様式 A

ページ番号

基本情報	A-1	プロフィール表 I	
		医療機関・各種検査の記録	

様式 B

乳幼児期	B-1	成育歴（乳児期～幼児期の様子）	
	B-2	こども園・保育園・幼稚園の様子 2～3歳用	
	B-3	こども園・保育園・幼稚園の様子 4～6歳用	
	B-4	乳幼児期のサポートプラン	

様式 C

学齢期	C-1	学齢期の様子〈個別の教育支援計画（アセスメント）〉	
	C-2	学齢期のサポートプラン〈個別の教育支援計画（長期支援計画）〉	

様式 D

成人期	D-1	プロフィール表	
	D-2	相談シート I	
	D-3	相談シート II	
	参考	就労パスポート	

オプションシート（時期に限らず必要な時に利用してください）

相談の記録（本人・保護者（家族）または支援者が相談時に記入	
移行支援計画（保護者または支援者/園⇒学校、小学校⇒中学校など所属が変わる際に作成）	
学齢期のサポートプラン〈個別の教育支援計画Ⅲ（中期支援計画）〉 支援者・保護者/本人の入学・進級時または相談時	
同意書	

プロフィール表 I

保護者が

初めて相談するとき

ふりがな		性別	生年月日	年	月	日
氏名						
住所	〒			電話 番号		
所属 (学校等)				〒 (TEL :)		
相談歴 診断歴 障害の状況	※令和〇〇年△△病院「□□」の診断※こだわりが強く、コミュニケーションが苦手である 等					
療育手帳	無	・ 有 等級 (A・B)	身体障害者手帳	無	・ 有 等級 ()	
精神保健福祉手帳	1級	・ 2級	・ 3級	医療的ケア	無	・ 有 ()
手当	無 ・ 有 ()					
諸検査の結果	検査方法	検査年月		検査結果		
福祉歴 保育・教育歴 福祉サービス 利用歴	※令和〇〇年～〇〇年 △△こども園 ※令和〇〇年～ △△言語教室 等					

関係機関ネットワーク				
	支援機関	担当者	連絡先	支援内容
医療				
福祉				
教育				
地域 余暇 その他				

4
全頁に追加します

記載例

<様式 A-1>

プロフィール表

幼
少
期

ふりがな	●●● ●●●	男・女	生年月日	平成 ●●年 ●月 ●●日
氏名	○○ ○○			
住所	〒421-1234 静岡市○○区○○丁目●番●ハイツ●号		電話 番号	
所属 (学校等)	静岡市立○○小学校		〒421-1234 静岡市○○区●番●号 (TEL: 054-255-●●●●)	
相談歴 診断歴 障害の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか発語があらわれず、三歳児健診にて相談。 ・平成●●年4月 ○○病院 小児科 「自閉スペクトラム症」の診断 ・初めての場所だと落ち着きなく動き回ることが多い。 ・こども園に行き渋っていたが、年長になると友達と遊ぶことも多くなった。 <p>※令和○○年 △△病院「□□」の診断 ※こだわりが強く、コミュニケーションが苦手である 等</p>			
療育手帳	無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 等級 (A ・ B)	身体障害者手帳	無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 等級 (4)	
精神保健福祉手帳	1級 ・ 2級 ・ 3級	医療的ケア	無 ・ 有 ()	
手当	無 ・ 有 ()			
諸検査の結果	検査方法	検査年月	検査結果	
	新版K式	平成 29 年 1 月	認知・適応DQ●● 言語・社会DQ●●	
	WISC-IV	平成 30 年 5 月	FIQ●●●●	
福祉歴 保育・教育歴 福祉サービス 利用歴	<ul style="list-style-type: none"> ・平成●●年～平成●●年 静岡市立 ○○保育園 ・平成●●年～平成●●年 児童発達支援事業所 <p>※平成○○年～○○年 △△幼稚園 ※平成○○年～ △△言語教室 等</p>			

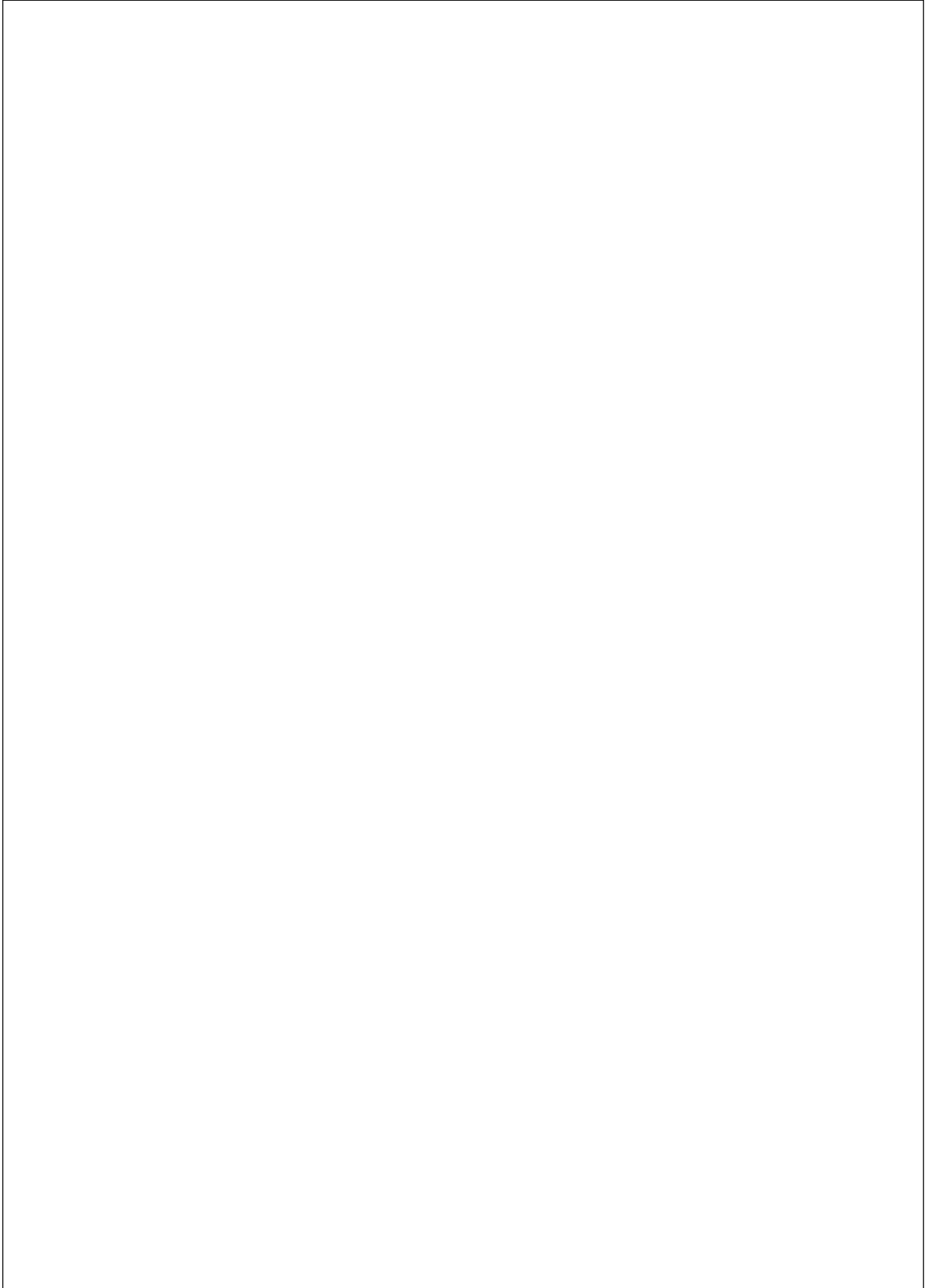
関係機関ネットワーク				
	支援機関	担当者	連絡先	支援内容
医療	○○病院小児科	佐藤	054-255-▲▲▲▲	定期的な相談と薬の処方
福祉	放課後等デイサービス	田中	054-255-△△△△	コミュニケーションの訓練
教育	英会話教室	土井	054-255-☆☆☆☆	英会話の学習
地域 余暇 その他	★★サッカー教室	伊藤	054-255-★★★★	週3回夕方からサッカーの練習

家族構成				
氏名	同居 別居	続柄	生年月日	所属
	同・別	本人		
	同・別			
	同・別			
	同・別			
	同・別			
	同・別			
	同・別			

お子さん・家族についてお書きください。生まれた時の親の気持ちなども。

医療機関・各種検査の記録

検査結果のコピーを添付してください。



支援者や保護者が

初めて相談する時

記入日（ 年 月 日）記入者（氏名： 続柄： ）

* 妊娠中に気になることはありましたか。あった方は内容をお書きください。

* 出生時の体重_____g 在胎__週 仮死 ない・ある（その程度：_____）
（普通分娩・帝王切開・吸引分娩・鉗子分娩・その他_____）
その他新生児期に気になることがあった場合（保育器、点滴、光線療法等）には詳しくお書きください。

出産への期待・気持ち 母 _____
父 _____

* 発達の様子

首のすわり__カ月 寝返り__カ月 おすわり__カ月 はいはい__カ月 つかまり立ち__カ月

ひとり立ち__カ月 歩きはじめ__カ月 走る__歳__カ月

要求の指さし(何か欲しいものがある時の指さし) (__ヶ月)・なし

興味の指さし(何かに興味をもった時に、それを知らせる/伝えるための指さし)(__カ月)・なし

ジェスチャー(バイバイ、パチパチ、ハイなど) ある(__カ月)・なし

かたこと(マンマ、ブーブなど) ある(__カ月、内容 _____)なし

2 語文(パパ/きて、ジュース/ちょうだい など) ある(__歳__カ月)なし

3 語文(パパ/あっち/行こう など) ある(__歳__カ月)なし

* 1 歳頃のお子さんについて当てはまるものに○をつけてください

- | | | |
|------------------------------|----|-----|
| 1 人のいる方向に顔を向けなかった | はい | いいえ |
| 2 母を視線で追わなかった | はい | いいえ |
| 3 母の顔を見ても笑顔をみせなかった | はい | いいえ |
| 4 人見知りをしなかった | はい | いいえ |
| 5 人見知りが激しかった | はい | いいえ |
| 6 あやしても喜ばなかった | はい | いいえ |
| 7 音がしても知らんぷりをしていた | はい | いいえ |
| 8 おとなしくて手がかからない子だった | はい | いいえ |
| 9 他人の介入をいやがり一人の時の方が機嫌が良かった | はい | いいえ |
| 10 抱きににくく抱かれにくい子だった | はい | いいえ |
| 11 おつむてんてん(まね)などをしなかった | はい | いいえ |
| 12 おもちゃへの興味が少なかった | はい | いいえ |
| 13 睡眠が不規則だった | はい | いいえ |
| 14 かんの強い子だった | はい | いいえ |
| 15 喃語(マママ・ダダダなど赤ちゃん言葉)が少なかった | はい | いいえ |
| 16 見てほしいものを見せにくることが少なかった | はい | いいえ |

【幼児期（1歳から6歳まで）の様子】

現在は見られないが以前に見られた場合もお書きください。

- 1 親から平気で離れたり、頻回に迷子になったりしますか。 はい・いいえ __歳頃
- 2 視線が合わないことはありますか はい・いいえ __歳頃
- 3 名前を呼んでも気付かないことはありますか。 はい・いいえ __歳頃
- 4 ことばの遅れはありますか。 はい・いいえ __歳頃
- 5 オウム返しはありますか。 はい・いいえ __歳頃
- 6 奇妙な動作やしぐさはありますか。 はい・いいえ __歳頃
(どのような動作やしぐさですか)
- 7 こだわりがありますか。 はい・いいえ __歳頃
(どのようなこだわりですか)
- 8 興味・関心が強いことはありますか。 はい・いいえ __歳頃
(何に対してですか)
- 9 多動傾向はありますか。 はい・いいえ __歳頃
- 10 こども園・保育所・幼稚園で

入園当初行き渋ることがありましたか	はい（期間 ）	いいえ
集団参加はできますか	はい	いいえ（ 歳頃）
どのような場面で集団参加できませんか		
友達と仲良く遊べますか	はい	いいえ（ 歳頃）
物の貸し借りはできますか	はい	いいえ（ 歳頃）
遊びのルールは理解できますか	はい	いいえ（ 歳頃）

11 感覚過敏はありますか

聴覚過敏（大きな音が苦手）	はい 具体的に：	いいえ
視覚過敏（特定の絵やぬいぐるみなど）	はい 具体的に：	いいえ
触覚過敏（足に砂、ぬれた服など）	はい 具体的に：	いいえ
強い偏食（緑の野菜や肉魚介など）	はい 具体的に：	いいえ

健診について

健 診	相談内容やアドバイスされたことなど
4 か月児健診	
10 か月児健診	
1 歳 6 か月児健診	
2 歳児健診	
3 歳児健診	

現在のお子様の好きな物

- おもちゃ：
- 絵本・本：
- テレビ番組・ネット：
- キャラクター：

こども園・保育園・幼稚園の様子 2～3歳用

子どもの氏名（ ）年少前（ ）年少（ ）
 記入日（ 年 月 日）記入者（氏名： 続き柄： ）

各項目の当てはまるところに○をつけてください

1 生活面

1日の生活の流れがわかる（わかる・少しわかる・わからない）
睡眠時間（起床時間： 時）（就寝時間： 時）（午睡： 時～ 時）

	一人で できる	一人で おおむね できる	介助が あれば できる	全介助
朝の支度や帰りの支度が一人でできる	0	1	2	3
一人でズボン・上着を脱ぐことができる	0	1	2	3
靴を一人ではくことができる	0	1	2	3
排尿が一人でできる （排尿時間： 時）（自分で言える：はい・いいえ）	0	1	2	3
食事が一人でできる 手づかみ（ ） スプーン・フォーク（ ） えじそんばし（ ） ばねばし（ ）	0	1	2	3
食事の準備ができる	0	1	2	3
食事の片付けができる	0	1	2	3

2 活動（課題・友だちとの遊びなど）

活動の内容・仕方がわかる（わかる・少しわかる・わからない）
活動の見通しが持てる（わかる・少しわかる・わからない）
初めての活動に取り組める（わかる・少しわかる・わからない）

	一人で できる	一人で おおむね できる	介助が あれば できる	全介助
体操・踊りができる	0	1	2	3
ボールけりができる	0	1	2	3
階段を交互に上がることができる	0	1	2	3
絵を描くことができる	0	1	2	3
歌を歌うことができる	0	1	2	3
ごっこ遊びができる	0	1	2	3
集会に参加ができる（朝の会・学年の会）	0	1	2	3
公園へ並んで歩いていくことができる	0	1	2	3
運動会や行事に一人で参加ができる	0	1	2	3

全体で絵本・紙芝居を座って見る・聞くことができる	0	1	2	3
全体遊びに参加する	0	1	2	3
1対1で遊ぶ()	0	1	2	3
2～3人で遊ぶ()	0	1	2	3

3 コミュニケーション

	一人でできる	一人で おおむね できる	介助が あれば できる	全介助
先生の全体指示がわかる	0	1	2	3
先生の個別の指示がわかる	0	1	2	3
先生にあいさつができる	0	1	2	3
先生に「はい」「いいえ」「いや」を言うことができる	0	1	2	3
先生に自分の思いを伝えることができる	0	1	2	3
先生のいつも通りの簡単な質問に答えることができる	0	1	2	3
先生の思いがけない質問に答えることができる	0	1	2	3
特定の友達と話ができる	0	1	2	3
グループで友達と会話ができる	0	1	2	3
友達と話ができる	0	1	2	3
物の貸し借りができる	0	1	2	3

4 気になる行動

	ない	稀にある	時々ある	よくある
教室を出る	0	1	2	3
座っているべき時に席を離れてしまう	0	1	2	3
食事中の離席	0	1	2	3
静かにしてほしい時に大きな声を出す	0	1	2	3
友達に乱暴なことを言う	0	1	2	3
友達を押し・たたく	0	1	2	3
活動の切り替えができない	0	1	2	3
活動の途中集中ができない	0	1	2	3
待つことができない	0	1	2	3
順番を待つのが難しい	0	1	2	3
ルールや約束が守れない	0	1	2	3
他の人がしていることをさえぎる、じゃまをする	0	1	2	3
思い通りにならないとかんしゃくをおこす	0	1	2	3
勝敗のこだわりが強い	0	1	2	3
こだわり行動がある (何か持っている・位置・手順・玩具・着るもの、など)	0	1	2	3
感覚過敏がある (大きな音・べたべたしたもの・手の汚れ・ぬれた服、など)	0	1	2	3

こども園保育園・幼稚園の様子 4歳～6歳

子どもの氏名（ ）年中（ ）年長（ ）
 記入日（ 年 月 日）記入者（氏名： ） 続き柄：（ ）

各項目の当てはまるところに○をつけてください。

1 生活面

1日の生活の流れがわかる（わかる・少しわかる・わからない）
睡眠時間（起床時間： 時）（就寝時間： 時）（午睡： 時）

	一人でできる	一人で おおむね できる	介助が あれば できる	全介助
朝の支度や帰りの支度が一人でできる	0	1	2	3
着替えが一人で出来る	0	1	2	3
排尿が一人でできる 時間排尿（ ）自分で言える（ ）	0	1	2	3
排便が一人で出来る	0	1	2	3
食事が一人でできる 手づかみ（ ） スプーン・フォーク（ ） えじそんばし（ ） ばねばし（ ）	0	1	2	3
食事の準備ができる	0	1	2	3
食事の片付けができる	0	1	2	3

2 活動（課題・友だちとの遊びなど）

活動の内容・仕方がわかる（わかる・少しわかる・わからない）
活動の見通しが持てる（わかる・少しわかる・わからない）
初めての活動に取り組める（わかる・少しわかる・わからない）

	一人でできる	一人で おおむね できる	介助が あれば できる	全介助
体操・踊りができる	0	1	2	3
サッカーやドッチボールができる	0	1	2	3
工作ができる（ハサミを使う炉応）	0	1	2	3
絵を描くことができる	0	1	2	3
歌を歌うことができる	0	1	2	3
楽器を演奏することができる	0	1	2	3
クラス以外の集団活動に参加ができる（学年全体・園全体）	0	1	2	3
遠足に一人で参加ができる	0	1	2	3
運動会に一人で参加ができる	0	1	2	3

学習発表会に参加できる	0	1	2	3
全体遊びに参加できる（おにごっこ、しっぽとりなど）	0	1	2	3
1対1で遊ぶ（おいかっこ、砂遊びなど）	0	1	2	3
2～3人で遊ぶ（おにごっこ、砂遊び、ブロック遊びなど）	0	1	2	3
5～6人でルールのある遊びをする（けいどろ、カルタなど）	0	1	2	3

3 コミュニケーション

	一人で出来る	一人で おおむね 出来る	介助が あれば できる	全介助
先生の全体指示が分かる	0	1	2	3
先生の個別の指示が分かる	0	1	2	3
先生にあいさつができる	0	1	2	3
先生に「はい」「いいえ」「いや」を言うことができる	0	1	2	3
先生に自分の思いを伝えることができる	0	1	2	3
先生のいつも通りの簡単な質問に答えることができる	0	1	2	3
先生の思いがけない質問に答えることができる	0	1	2	3
特定の友達と話ができる	0	1	2	3
グループで友達と会話ができる	0	1	2	3
友達と話ができる	0	1	2	3
物の貸し借りができる	0	1	2	3

4 気になる行動

	ない	稀に ある	時々 ある	よく ある
教室を出る	0	1	2	3
座っているべき時に席を離れてしまう	0	1	2	3
食事時の離席	0	1	2	3
静かにしてほしい時に大きな声を出す	0	1	2	3
友達に乱暴なことを言う	0	1	2	3
友達を押す・たたく	0	1	2	3
活動の切り替えができない	0	1	2	3
活動の途中集中ができない	0	1	2	3
待つことができない	0	1	2	3
順番を待つのが難しい	0	1	2	3
ルールや約束が守れない	0	1	2	3
他の人がしていることをさえぎる、じゃまをする	0	1	2	3
思い通りにならないとかんしゃくをおこす	0	1	2	3
勝敗のこだわりが強い	0	1	2	3
こだわり行動がある （何か持っている・位置・手順・玩具・着るもの、など）	0	1	2	3
感覚過敏がある （大きな音・べたべたしたもの・手の汚れ・ぬれた服、など）	0	1	2	3

記載例

乳幼児期のサポートプラン

年度 (~) 月の個別支援計画

児童名		(男・女)	園長		副園		担任
	年 月 日生まれ (歳 カ月)		印		長印		印

特性・気になる行動	(家庭) <div style="text-align: center;"> <例> <ul style="list-style-type: none"> ・多動・衝動性・気が散りやすい ・対人関係 (人との関わりや気持ちの理解) ・こだわりや感覚過敏 ・言語理解、表現 </div> (園)
個別対応方法	(家庭) <div style="text-align: center;"> <例> <ul style="list-style-type: none"> ・ほめを増やす ・ほめ表 ・スケジュール化 ・手順表 ・絵カード ・ルール作り ・ジェスチャー ・1対1行動で教える ・その他 </div> (園)
配慮事項 (保護者支援を含む)	<div style="text-align: center;"> <例> <ul style="list-style-type: none"> ・園・学年全体の配慮 ・クラスの配置 ・加配の配慮 ・家庭の配慮 ・医療・専門機関連携 </div>

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動			
手先の運動			
身の自立 ・着替え ・食事 ・排泄など			
友達関係 集団活動			
言語 ・発語 ・ことばの理解 ・気持ちの伝え方			
こだわり			
サポート結果			

記載例

	できること	伸ばしたいこと	サポートプラン
全身運動	<ul style="list-style-type: none"> ボールを前に蹴る 階段を一人で一段ごと足を揃えて登る 走る 	<ul style="list-style-type: none"> 両足でびよんびよん跳びを楽しませる 足を交互に出して平均台を歩いたり階段登りをする 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者が両手をつないで、トランポリンやマット上で両足跳びをしたり低い台から手をつないで飛び降りたりする
手先の運動	<ul style="list-style-type: none"> ぐるぐるまるを描く 鉄棒などに両手でぶら下がる 積木を横に3～5個並べる 	<ul style="list-style-type: none"> まねて直線を引く 	<ul style="list-style-type: none"> 水性マジックで遊ぶ 新聞紙を丸めたり、ちぎったりして遊ぶ
身の自立	<p>【食事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 好きな物だけを座って一人で食べる <p>【排泄】</p> <ul style="list-style-type: none"> 排尿した事を伝える パンツは一人でおろす <p>【睡眠】</p> <ul style="list-style-type: none"> 抱っこで眠る事もある 	<ul style="list-style-type: none"> 皆と一緒に席に座って食べる 排尿を教える 	確認中
集団活動 友達関係	<ul style="list-style-type: none"> 親から離れて遊ぶ 簡単な手伝いをする 他児の遊びに興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と手をつないで歩く 手遊びを楽しむ 友だちに関心をもっているが、関わりがうまく持てず、突然押ししたり叩いたりしてしまうので友だちとの関わり方を覚える 	<ul style="list-style-type: none"> 触れ合い遊びを通して、人との関わりや手をつなぐ等の楽しさを教えていく 押ししたり叩いたりする前に、本児の気持ちを汲み取って言葉で代弁していく 「貸して」「入れて」等の場面に合った言葉を保育者と一緒に言いながら知らせていく
言語（発語・ことばの理解） ・気持ちの伝え方	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を見て一つの物の名前を言う 簡単な指示を理解し行動することができる 困った時や嫌な時に大きな声を出す 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を見ていろいろな物の名前が言える 困った時、嫌なときに保育者に伝える 指差しができるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者が一緒に絵本や異物を見て指差しをし、物の名前を繰り返し伝えていく 本児の思いを代弁し要求の方法を教えていく（要求カード、身体ブログ等）
こだわり	<ul style="list-style-type: none"> 物の順番にこだわる 食べ物の偏りがある（白米、スナック等） 色にこだわる 水が好き 	<ul style="list-style-type: none"> 水を使った遊びを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士と一緒に花の水かけを楽しむ

幼少期

学齢期の様子〈個別の教育支援計画（アセスメント）〉

児童名（ ）

記入日（ 年 月 日）記入者（氏名： ） 続柄：（ ）

各項目の当てはまるところに○をつけてください

1. 学習面について

（1）聞く

	ない	稀にある	時々ある	よくある
聞き違いがある（「知った」を「行った」と聞き間違える）	0	1	2	3
聞き漏らしがある	0	1	2	3
個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい	0	1	2	3
指示の理解が難しい	0	1	2	3
話し合いが難しい（話しの流れが理解できず、ついていけない）	0	1	2	3
その他（ ）				

（2）話す

適切な速さで話すのが難しい（たどたどしく話す。とても早口である）	0	1	2	3
言葉につまったりする	0	1	2	3
単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする	0	1	2	3
思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい	0	1	2	3
内容をわかりやすく伝えるのが難しい	0	1	2	3
その他（ ）				

（3）読む

初めて出てきた単語や、普段あまり使わない語などを読み違える	0	1	2	3
文中の語句や行を抜かしたり、繰り返し読んだりする	0	1	2	3
音読が遅い	0	1	2	3
勝手読みがある（「いきました」を「いました」と読む）	0	1	2	3
文章の要点を正しく読みとるのが難しい	0	1	2	3
その他（ ）				

（4）書く

読みにくい字を書く（字の形や大きさが整っていない、まっすぐに書けない）	0	1	2	3
独特の筆順で書く	0	1	2	3
漢字の細かい部分を書き違える	0	1	2	3
句読点が抜けたり、正しく打てなかったりする	0	1	2	3
限られた量の作文や決まったパターンの文章しか書けない	0	1	2	3
その他（ ）				

(5) 計算する

	ない	稀にある	時々ある	よくある
学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい(三千四十七を300047や347と書く。分母の大きい方が分数の値として大きいと思っている)	0	1	2	3
簡単な計算が暗算でできない	0	1	2	3
計算をするのにとても時間がかかる	0	1	2	3
答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい(四則混合の計算。2つの立式を必要とする計算)	0	1	2	3
学年相応の文章題を解くのが難しい	0	1	2	3
その他()				

(6) 推論する

学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい(長さやかさの比較。「15cmは150mm」ということ)	0	1	2	3
学年相応の図形を描くことが難しい(丸やひし形などの図形の模写、見取り図や展開図)	0	1	2	3
事物の因果関係を理解するのが難しい	0	1	2	3
目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正するのが難しい	0	1	2	3
早合点や飛躍した考え方をする	0	1	2	3
その他()				

2. 行動面について

(1) 不注意

	ない	稀にある	時々ある	よくある
学校の勉強で、細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする	0	1	2	3
課題や遊びの活動で注意を集中し続けるのが難しい	0	1	2	3
面と向かって話しかけられているのに、聞いていないように見える	0	1	2	3
指示に従えず、また仕事を最後までやり遂げない	0	1	2	3
学習課題や活動を順序だてて行う事が難しい	0	1	2	3
集中して努力を続けなければならない課題(学校の勉強や宿題等)を避ける	0	1	2	3
学習課題や活動に必要な物をなくしてしまう	0	1	2	3
気が散りやすい	0	1	2	3
日々の活動で忘れっぽい	0	1	2	3
その他()				

(2) 多動性—衝動性

	ない	稀にある	時々ある	よくある
手足をそわそわ動かしたり、着席していてももじもじする	0	1	2	3
授業中や座っているべき時に席を離れてしまう	0	1	2	3
きちんとしていなければならない時に、過度に走り回ったりよじ登ったりする	0	1	2	3
遊びや余暇活動におとなしく参加することが難しい	0	1	2	3
じっとしていない、または何かに駆り立てられるように活動する	0	1	2	3
過度にしゃべる	0	1	2	3
質問が終わらない内に出し抜けに答えてしまう	0	1	2	3
順番を待つのが難しい	0	1	2	3
他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする	0	1	2	3
その他 ()				

3. 対人関係について

(1) 社会性

	ない	少しある	よくある
目と目で見つめあう、身振りなどの多彩な非言語的な行動が困難	0	1	2
同年齢の仲間関係を作ることが困難である	0	1	2
楽しい気持ちを他人と共有することや気持ちの交流が困難である	0	1	2
友達と仲良くしたいという気持ちはあるが、友達関係をうまく築けない	0	1	2
友達のそばにいるが、一人で遊んでいる	0	1	2
球技やゲームをする時、仲間と協力してプレーすることが難しい	0	1	2
色々なことを話すが、そのときの状況や相手の感情、立場を理解しない	0	1	2
共感を得ることが難しい	0	1	2
周りの人が困惑するようなことも、配慮なしで言うってしまう	0	1	2
その他 ()			

(2) コミュニケーション

話し言葉の遅れがあり、身振りなどで補おうとしない	0	1	2
他人と会話を開始し継続する能力に明らかな困難性がある	0	1	2
常同的で反復的な言葉の使用または独特な言語がある	0	1	2
その年齢に相応した変化にとんだ自発的なごっこ遊びや社会性のある物まね遊びができない	0	1	2
含みのある言葉の本当の意味がわからず、表面的に言葉通りに受け止めてしまう事がある	0	1	2
会話の仕方が形式的であり、抑揚なく話したり、間合いがとれなかったりする事がある	0	1	2

その他（ ）

(3) こだわり

	ない	少し ある	よく ある
強いこだわりがあり、限定された興味だけに熱中する	0	1	2
特定の習慣や手順にかたくなにこだわる	0	1	2
反復的な変わった行動（例：手や指をバタバタさせる等）をする	0	1	2
物の一部に持続して集中する	0	1	2
みんなから「〇〇博士」「〇〇教授」と思われている（例：カレンダー博士）	0	1	2
他の子どもは興味がないような事に興味があり自分だけの知識の世界を持っている	0	1	2
空想の世界（ファンタジー）に遊ぶ事があり、現実との切り換えが難しい場合がある	0	1	2
特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない	0	1	2
とても得意な事がある一方で、極端に苦手なものがある	0	1	2
ある行動や考えに強くこだわる事によって、簡単な日常の活動ができなくなることがある	0	1	2
自分なりの独特な日課や手順があり、変化や変更を嫌がる	0	1	2
その他（ ）			

(4) その他

常識的な判断がむずかしいことがある	0	1	2
動作やジェスチャーがぎこちない、手先が不器用	0	1	2
感覚の偏りがある（例：特定の音を極端に嫌がる、触られる事をすごく嫌がる、極端な偏食、逆にきらきらした物を見るのが大好き、グニャグニャした物を触るのが大好き等）	0	1	2
その他（ ）			

4. その他について

特 性	主な様子
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知的発達 （学習の様子など） ・ 視覚 （視力など） ・ 聴覚 （聴力など） ・ 肢体 （歩行など） ・ 病虚弱など （疾病・疾患など） 	

学
齢
期

支援者や保護者が

本人の入学・進級または相談するとき

<様式 C-2>

学齢期のサポートプラン〈個別の教育支援計画（長期支援計画）〉

学
齢
期

年度	学校名	学年
氏名（ふりがな）		

	学級	家庭	諸機関との連携 （通級・きらり等）
伸ばしたいこと	学習面	学習面	学習面
願う姿	生活面	生活面	生活面

目標	期間 1年
----	----------

支援者	学校 担任	家庭 保護者	支援機関（ ）
サポートプラン	（ ）について	（ ）について	（ ）について
内容確認	年 月 日 保護者・担任・通級担当・その他（ ）（○をつける）		

サポート結果	・	・	・
--------	---	---	---

確認日： 年 月 日 保護者氏名 _____

学齢期のサポートプラン〈個別の教育支援計画（中期支援計画）〉

記入日（ 年 月 日 第 学年）記入者（ ）

	得意なこと	伸ばしたいこと	サポートプラン
身の自立 ・食事 ・排泄 ・着脱など			
1日の生活の流れ ・朝のしたく ・授業の用意片付け ・教室移動 ・給食のしたく ・給食当番 ・掃除など			
学習 ・国語 ・算数・数学 ・理科 ・社会 ・外国語（英語） ・音楽 ・図工・美術 ・技術家庭 ・保健体育 ・音楽 ・書写			
行事 ・運動会 ・修学旅行など			

学
齢
期

<p>集団参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝礼 ・学年集会など 			
<p>コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達との関係 ・大人との関係 ・特定の人との関係 			
<p>内容確認</p>	<p>保護者のサイン _____</p> <p style="text-align: right;">_____年 月 日</p>		
<p>サポート結果</p>	<p>(成果)</p> <p>(課題)</p>		

プロフィール表

記入日(年 月 日)

記入者()

更新日(年 月 日)

1. 基本情報

氏名(ふりがな)	性別	生年月日		
	男・女	昭和		
		平成	年 月 日	(歳)
		令和		
住所	連絡先			
〒	自 宅			
	F A X			
	携 帯			
	メー ル			
家族構成				
氏 名	同居 別居	続 柄	生年月日	所 属
	同・別			
	同・別			
	同・別			
	同・別			
	同・別			
	同・別			
	同・別			

成人期

2. 診断について(有・無)

診断時期	年 月 頃
診断機関	
診断名	

3. 手帳の取得について(有・無)

身体障害者手帳	級 (年取得)
療育手帳	A ・ B (年取得)
精神障害者保健福祉手帳	1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 (年取得)

履歴（学校・職歴など）についてお書きください。

区分	こども園・学校名・会社名	在籍年数	在籍期間
こども園 保育園 幼稚園		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
小学校		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
中学校		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
高校		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
大学		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
専門学校		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
就職先など		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月
		年	年 月～ 年 月

成人期

相談シート I

記入日（ 年 月 日）

氏名	（ 姓 ）	（ 名 ）	（ 姓 ）	（ 名 ）
支援者	・ <様式 D-2> <様式 D-3> は、支援者が本人と面談しながら記載することを想定しているため専門用語が多く使用されています。			（ 姓 ）

1. 相談内容（該当するものに○をつけてください）複数選択可

<input type="checkbox"/>	社会性の特性	<input type="checkbox"/>	コミュニケーションの特性	<input type="checkbox"/>	想像力の特性
<input type="checkbox"/>	不注意・実行機能の特性	<input type="checkbox"/>	多動性の特性	<input type="checkbox"/>	衝動性の特性
<input type="checkbox"/>	知能の特性（LD含む）	<input type="checkbox"/>	感覚の特性	<input type="checkbox"/>	感情のコントロールの特性
<input type="checkbox"/>	身体・運動の特性	<input type="checkbox"/>	二次障害・依存障害の特性	<input type="checkbox"/>	空間認知の特性

成人期

2. 相談したいことを具体的に書いてください

相談したいこと	今現在の対応	アドバイス

3. 相談のまとめ

(1) 本人の状況と特性について

--

(2) 本人の状況と特性に合わせた対応

--

(3) 相談内で以下の支援機関について紹介説明しました

--

相談シートⅡ

記入日（ 年 月 日）

氏名	(歳)	相談者	(続柄:)
支援者	(支援機関:)		

	行動と特性	支援内容
社会性の特性		
コミュニケーションの特性		
想像力の特性		
不注意・実行機能の特性		
多動性の特性		
衝動性の特性		

	行動と特性	支援内容
知能の特性 (LD含む)		
感覚の特性		
感情のコントロールの特性		
身体・運動の特性		
二次障害・依存障害		
空間認知の特性		

成人期

支援者が相談対応の際にご本人から聞き取りをしやすいよう、例として挙げています。

<例>

- ・ 沢山の人がいるところが苦手、辛い。
- ・ 他の人に話しかけることが苦手。
- ・ いじめにあった。
- ・ 言われたとおりにやったつもりなのに、注意される事が多く辛い。
- ・ 就職したいが適当なところが見つからない。
- ・ 家から出たくない。
- ・ 金銭管理が苦手。上手にできない。
- ・ 他の人とトラブルになりやすい。

<例>

- ・ 学歴
- ・ 不登校などの経験の有無・時期
- ・ 学校で得意だったこと、苦手だったこと
- ・ 就労の経験と経過
- ・ 得意なこと、苦手なこと
- ・ 趣味としてやっていること、余暇の過ごし方など
- ・ やってみたい仕事、希望すること
- ・ やりたくない仕事

記載例

<様式 D-2>

相談シート I

記入日 (年 月 日)

氏 名		相談者	(続柄:)
支援者	大学卒業後1年経過(23歳)の事例		()

1. 相談内容

○	社会性の特性	○	コミュニケーションの特性	○	想像力の特性
○	不注意・実行機能の特性	○	多動性の特性		衝動性の特性
	知能の特性 (LD 含む)		感性の特性	○	感情のコントロールの特性
	身体・運動の特性	○	二次障害・依存障害の特性		空間認知の特性

成人期

2. 相談したいことを具体的に書いてください (3つまで)

	相談したいこと	今現在の対応	アドバイス
1	忘れ物を予防する方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・持って行く物を前日に用意する 	<ul style="list-style-type: none"> ・支度を事前に行う ・持ち物のチェックリストを作って確認する ・忘れて困るものは、スペアを用意しておく
2	不注意特性への対処について	<ul style="list-style-type: none"> ・集中するように意識をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・不注意は、情報(刺激)を取り込みすることが背景にある。そのため、不必要な道具を出さず、視界に入る人を減らし、不必要な音が聞こえにくい環境で作業することを提案。 ・主治医から服薬を提案された場合には、主治医と相談することを勧めた。
3	障害者枠での就職について	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医と相談し、主治医からも障害者枠での就職を勧められた 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者枠での就職には、障害者手帳が必要である。 ・本人の診断では、精神保健福祉手帳が取得できる可能性が高いため、主治医に障害者手帳申請用の診断書を作

			<p>成してもらうことを勧めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手帳が取得できた後に、ハローワークにて登録・相談を行う。 ・手帳申請中に、今後利用する支援機関を相談する。
--	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 相談のまとめ

(1) 本人の状況と特性について

小学生の頃から忘れ物が多く、ケアレスミスもあった。友達の冗談を字義通りに解釈する、自分が一方的に話すといったことがあり、雑談が苦手だった。

掃除の際、先生から「ここきれいにしておいて」と言われたが、どの程度きれいにすればいいかわからず固まってしまったことがある。

授業の予定が変更になることや初めての場所や行事は不安が高かった。

大学1年時に精神科を受診し、ADHDの不注意優勢型、自閉スペクトラム症と診断を受ける。就職活動を行ったが、面接試験で質問の意図が汲み取れなかったり、考えがまとまらず回答できないことが続いた。就職活動が上手くいかず、不眠などの症状が現れたため精神科へ受診したところ、ADHD、自閉スペクトラム症、うつ病と診断された。

現在は障害者枠での就労を目指しているが、障害者手帳は取得していない。

自分はどのような作業が得意なのか分からず、求人票を見ても選ぶことができない。

現在はうつ病の治療もしており、ストレスマネジメントなどの方法を知りたい。

ビジネスマナーの習得や仕事のスキルを高めたい。

(2) 本人の状況と特性に合わせた対応

不注意への対応としては、音や人、文字、物などの刺激を少なくする。服薬については主治医と相談を行う。

曖昧な指示や含みのある言い回しは分かりにくいいため、短く具体的な言葉で指示を出す。指示はメモとして書いて渡すか、ホワイトボードのような見える場所に書いて本人が確認できるようにする。

作業方法の説明は、デモンストレーションを見せながら、実況中継（今は〇〇だから△△するよ）のように教えていく。マニュアル化も有効。

作業面における特性の現れを分析する。状況を整理する知識・スキルの向上。

ストレスマネジメントスキルの習得。

(3) 相談内で以下の支援機関について紹介説明しました

ハローワークの就労支援ナビゲーター

障害者職業センター

就労移行支援事業所

障害者就業・生活支援センター

相談シートⅡ

記入日（ 年 月 日）

相談者	(歳) (続柄:)
支援者	大学卒業後1年経過(23歳)の事例 (支援機関:)

	行動と特性	支援内容
社会性の特性	<ul style="list-style-type: none"> 他者に対しての情緒的な交流ができない。 公共の場所とプライベート空間の区別が曖昧で、スマートフォンの音楽をバスの中で流す。 	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルストーリー、コミック会話の活用 公共の場所で認められること、プライベート空間で認められることを書きだして比較する。
コミュニケーションの特性	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをまとめて相手に伝えることができない。 自分の知っていることは一方的にしゃべり続ける。 相手の表情を読み取れない。 グループで話し合う時、会話に入れない。 	<ul style="list-style-type: none"> マインドマップの活用 会話のキャッチボール(SST教材)の紹介
想像力の特性	<ul style="list-style-type: none"> 予定の急な変更が苦手。 他者が何に注意を向けているかを読み取れない。 状況の把握が苦手。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定が変更されることを想定内にする 実況中継 注意喚起
不注意・実行機能の特性	<ul style="list-style-type: none"> 鍵、財布、スマートフォンなどを失くす。 文章の誤字、脱字が多い 提出期限に遅れる 3つ以上の指示を受けると1つは忘れる 仕事の優先順位を考え、段取りを組むことが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> 貴重品に紛失防止装置をつける(離れるとアラームが鳴る、GPSで探せる) 指示をボイスレコーダーで録音、メモを特定の場所に貼る 仕事の優先順位をつけるためのマニュアルをつくる
多動性の特性	<ul style="list-style-type: none"> 質問について回答を考えていると、思い浮かんだ内容に意識が移っていく 貧乏ゆすりをする 30分以上、椅子に座っていると席を立ちたくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 考える議題を目立つように紙やホワイトボードに書き、常に議題を見て意識を戻せるようにする 長時間座って作業するよりも、比較的動きがある職種を検討する

成人期

衝動性の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・思ったことを口にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクをし、思ったことが声に出てしまったとしても聞こえにくくする。
知能の特性 (LD含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・書字に苦手意識がある ・レポートなどの長い文章を書くことが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを利用して書字の機会を減らす ・スマホの録音機能を使い、文章を考えながら録音する。次に、録音を聞きながら文章を書き起こす。 (テキスト化するソフトを使用することも有効)
感覚の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚過敏があり、街中のザワザワとした音が苦手 ・人混みや街中を通る際には、音楽を聞きながら足早に通りすぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ・音の原因から物理的な距離をとるか、ノイズキャンセリング機能のあるヘッドフォン、イヤーマフなどを使って音を遮断する。
感情のコントロールの特性	<ul style="list-style-type: none"> ・不安が大きくなると周囲が自分を批判的に捉えていると考える ・ストレスマネジメントが苦手 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実をもとに整理をする ・定期的にカウンセリングや相談を利用して整理を行う ・ストレスマネジメントの講座に参加する
身体・運動の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・手先の不器用さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・不器用を克服するのではなく、細かな作業が必要な職種や作業内容は避ける
二次障害・依存障害	<ul style="list-style-type: none"> ・うつ病 ・自己評価が低い ・学習性無力症 	<ul style="list-style-type: none"> ・うつ病の治療については主治医の指示に従う ・自分にできていることを再確認できるようにカウンセリングを受ける ・成功体験を積む
空間認知の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・枠や罫線がない用紙に字を書くと、字が歪む 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンで代替える ・下書きをパソコンで作ってから書き写す

就労パスポート

障害のある方が、働く上での自分の特徴や希望する配慮などを整理し、就職や職場定着に向け、支援機関や職場と必要な支援などについて話し合う際に活用できる情報共有ツールです。

最終更新日

年 月 日

氏名

障害名
(診断名)**1 職務経験** (これまで職場や、福祉サービス事業所などで経験した職務または作業とその期間を記入 (受障前のものも含む))

--

2 仕事上のアピールポイント (職場などでできていた (できている) ことや自分の強みが発揮できそうな職種・作業内容、培ってきたスキルを記入)

--

3 体調管理と希望する働き方

		自分の特徴	※該当するものに☑ (複数選択可)
ストレス・ 疲労	ストレスなどを 感じやすい 状況・場面 ※特に調子を崩すきつ かけとなるものを記 入		
	ストレスなどの サイン		
	対処方法		<input type="radio"/> 自分で取り組むこと <input type="radio"/> 配慮してほしいこと
通院のための 休暇	<input type="checkbox"/> 希望なし <input type="checkbox"/> 希望あり	(頻度・曜日・時間帯 →)	
服薬管理 のための 配慮 ※服薬ありの場合に 記入	<input type="checkbox"/> 希望なし <input type="checkbox"/> 希望あり ※具体的内容→		

希望する働き方	1日の勤務時間	<input type="checkbox"/> フルタイム（ ） <input type="checkbox"/> フルタイム以外（ ） <input type="checkbox"/> フルタイム以外から始めて段階的に延ばしたい → 具体的希望（ ）		
	1週間の勤務日数	<input type="checkbox"/> 当初から固定 → 週__日勤務を希望 <input type="checkbox"/> 勤務日数を段階的に延ばしたい(具体的希望→)		
	作業環境	避けたいもの または 配慮を望むもの	<input type="checkbox"/> 音(機械音、人の話し声など) <input type="checkbox"/> 照度 <input type="checkbox"/> におい <input type="checkbox"/> 屋外作業 <input type="checkbox"/> 高所 <input type="checkbox"/> 閉所 <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> その他()	希望する配慮
		休憩の取り方	<input type="checkbox"/> 静かな場所・部屋がよい <input type="checkbox"/> 一人で過ごすほうがよい <input type="checkbox"/> 特に希望なし <input type="checkbox"/> その他()	
	業務量や作業内容・方法などの調整	<input type="checkbox"/> 希望なし <input type="checkbox"/> 希望あり ※具体的内容→		
	業務を安定して遂行するために必要な機器、設備の調整			
	自由記述			

4 コミュニケーション面

	自分の特徴 ※該当するものに☑ (複数選択可)	自由記述
4-1 相手とのやりとり	業務中の仕事に関する会話 <input type="checkbox"/> 相手や場面に応じて臨機応変に対応できる (<input type="checkbox"/> 職場内の人に対して <input type="checkbox"/> 職場外の人に対して) <input type="checkbox"/> やり方が決まっているものであれば対応できる (<input type="checkbox"/> 職場内の人に対して <input type="checkbox"/> 職場外の人に対して)	
	職場内の人との会話 <input type="checkbox"/> 相手に対して自発的に話しかけられる <input type="checkbox"/> 話しかけてよいタイミングが具体的にわかれば話しかけられる <input type="checkbox"/> 慣れるまでの間は声をかけてもらえたほうが話しやすくなる	
	相手や場面に応じた対応 (表情、視線、言葉遣い) <input type="checkbox"/> 相手や場面に応じて対応できる <input type="checkbox"/> 具体的に教えてもらうことで徐々に身につけていくことができる	
4-2 相手の気持ちや考えの読みとり (推察)	<input type="checkbox"/> 相手の話の内容、表情・身振り、声の調子をもとに読みとることができる <input type="checkbox"/> 読みとりは苦手だが、質問して相手の気持ちや考えを確かめることができる <input type="checkbox"/> 気持ちや考えは、言葉で明確に伝えてもらうほうがわかりやすい	
自分で対処していること		

5 作業遂行面

指示内容などの理解 ※該当するものに☑（複数選択可）		自由記述
5-1 指示内容	<input type="checkbox"/> 判断基準を具体的に伝えてもらえるといい（「あれ・これ」「だいたい」などの抽象的な表現ではなく、「いつまで・何を・どの程度」などを具体的に示してもらえるといい） <input type="checkbox"/> メモが追いつくスピードで話をしてもらえるといい <input type="checkbox"/> ポイントを具体的に・簡潔に示してもらえるといい（例：口頭説明では「ここがポイント」と伝えてもらう。文字での説明は短い文章で伝えてもらう） <input type="checkbox"/> 一度の指示数は限定してもらえるといい	
5-2 理解しやすい方法	<input type="checkbox"/> 口頭説明 <input type="checkbox"/> 見本の提示 <input type="checkbox"/> 文章での説明 <input type="checkbox"/> 写真・図・絵での説明 <input type="checkbox"/> 作業手順書・マニュアル	
5-3 指示・報告の相手	<input type="checkbox"/> 作業を進める時に誰とやりとりするのが具体的にわかっているとよい <input type="checkbox"/> 2人以上から指示を受けた場合、適切に対応できる <input type="checkbox"/> 指示・報告のやりとりは特定の人に対応してもらえるといい <input type="checkbox"/> 担当者不在の場合、代わりに質問・報告などをすべき相手がわかっているとよい	
自分で対処していること		

優先順位づけ、予定変更への対応 ※該当するものに☑（複数選択可）		自由記述
5-4 2つ以上の指示への優先順位づけ	<input type="checkbox"/> 経験のある作業であれば、自力で対応できる <input type="checkbox"/> 経験の有無にかかわらず具体的な助言があるとよい <input type="checkbox"/> 今取り組んでいる作業が終わってから次の指示をしてもらえるといい	
5-5 作業途中での予定変更への対応※ <small>※優先順位の判断、所要時間の見直し、関連する人との調整など</small>	<input type="checkbox"/> 経験のある作業であれば、自力で対応できる <input type="checkbox"/> 具体的に対応方法を教えてくれる人がいれば対応できる <input type="checkbox"/> 予定変更があることを早めに伝えてもらえれば対応できる <input type="checkbox"/> 今取り組んでいる作業が終わってからであれば予定変更にも対応できる	
自分で対処していること		

正確さ、作業ペース ※該当するものに☑（複数選択可）		自由記述
5-6 作業の正確さ	<input type="checkbox"/> 作業速度よりも正確さを優先してもらえるといい （→期間： <input type="checkbox"/> 作業に慣れるまで <input type="checkbox"/> 作業に慣れた後も当面の間） <input type="checkbox"/> 正誤の判断基準、効果的・効率的な確認方法などは具体的に教えてもらえるといい <input type="checkbox"/> 当初、正確にできているか作業結果をチェックしてもらえるといい（正しくできていることがわかると、その後安定して作業に取り組める）	
5-7 作業ペース	<input type="checkbox"/> 周りのペースに合わせて作業ができる（例：流れ作業） <input type="checkbox"/> 比較的自分のペースで取り組める作業のほうがよい（例：単独作業） <input type="checkbox"/> 望ましい作業速度や改善のコツなどは具体的に教えてもらえるといい	
自分で対処していること		

安定した作業、質問・報告、共同作業など ※該当するものに☑（複数選択可）		自由記述
5-8 安定した 作業の実施	<input type="checkbox"/> 終日安定して作業に取り組める <input type="checkbox"/> 集中力を維持するための取り組み・工夫策を持っている →取り組み・工夫策の内容 <input type="checkbox"/> 途中で小休憩があれば1日 ____ 時間、安定して作業ができる →休憩のタイミング・頻度（例：午前・午後1回5分ずつ、90分ごとに5分など）	
5-9 作業にともなう 確認・質問・ 報告	<input type="checkbox"/> 経験のある作業であれば、自力で対応できる <input type="checkbox"/> 未経験の作業の場合、タイミング・内容・相手などをあらかじめ教えてもらえるとい <input type="checkbox"/> 担当者不在の場合の質問などの方法をあらかじめ教えてもらえるとい	
5-10 他者との 共同作業	<input type="checkbox"/> まわりの人と随時打ち合わせをしながら対応できる <input type="checkbox"/> 役割分担が具体的にわかれば対応できる <input type="checkbox"/> リーダーの指示がその都度あれば対応できる <input type="checkbox"/> 自分のペースで取り組むことができれば対応できる	
自分で対処して いること		

結果のふり回り、目標設定 ※該当するものに☑（複数選択可）		自由記述
5-11 結果のふり回り、 目標設定	仕事ぶりや 業務の目標設定に ついて話し合う機会	<input type="checkbox"/> 定期的にあるとよい （→タイミング： _____） <input type="checkbox"/> 特に希望なし
	モチベーションの 維持・向上	※モチベーションの維持・向上のために知りたいことがある場合は記入
	自分で対処して いること	

就職後の自己チェック

（「4 コミュニケーション面」、「5 作業遂行面」の記載内容のうち、変化したと感じる項目（番号）を記入→職場・支援機関の担当者と一緒にふり回りを）

チェック時期	変化したと感じる項目
<input type="checkbox"/> 就職 ()カ月 後	
<input type="checkbox"/> 就職 ()カ月 後	
<input type="checkbox"/> 就職 ()カ月 後	
<input type="checkbox"/> 就職 ()年 後	

【参考：支援機関】（利用している就労支援機関、福祉機関、医療機関などのうち、職場定着にとって重要と考えており、情報共有しておきたい機関を記入）

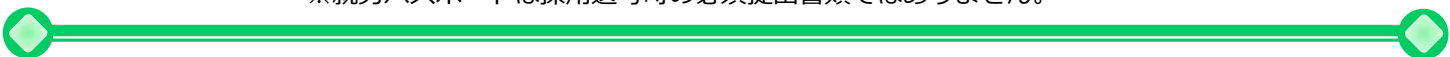
支援機関名	連絡先	利用している支援の内容



ひと、暮らし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

就労パスポート

- ※ご利用の際は、必ず「活用の手引き」をお読みください。
- ※就労パスポートは採用選考時の必須提出書類ではありません。



《オプションシート》

相談の記録

(サポートを受けた内容や相談した内容をお書きください。)

サポート機関の例：保健福祉センター・子育て支援センター・託児所・保育園・幼稚園・学校・
病院・各種支援機関・相談機関・市（区）役所等

サポート機関名	年月日	年齢 (歳 月)	相談内容	アドバイス	担当者
<div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> <p>「相談の記録」と「移行支援計画書」は、どの年代でも利用するため、オプションシートとしてまとめ、必要な時に使用できるようにしました。</p> </div>					

《オプションシート》

移行支援計画書＜個別の教育支援計画Ⅰ＞

記入日（ 年 月 日）記入者（ ）

氏名（ ）（男・女）生年月日（ ）年（ ）月（ ）日（ 歳）
 住所 〒（ ）静岡市（ ）区（ ）
 保護者氏名（ ）続柄（ ）電話番号（ ）

＜現在の様子＞

特性・行動面	
コミュニケーション	
友人関係	
学習面	
生活面	
その他	

＜サポート内容案＞

（この欄はサポート内容案を記入するための大きな空白領域です）

＜他機関との連携＞

（この欄は他機関との連携内容を記入するための大きな空白領域です）

オプションシート

同意書

(学校・サポート機関名)

様

(氏名) の「サポートファイル」に記載されている個人情報
を貴機関へ提供し及び貴機関において活用すること(並びに関連する情報を貴
機関において収集すること)に同意いたします。

ただし、その活用(及び収集)は、「サポートファイル」の作成のために限る
ものとします。

年 月 日

保護者住所：

保護者氏名：

(氏名を自署してください。)

本人住所：

本人氏名：

(氏名を自署してください。)

※ 本人が成人(満18歳以上)で、かつ、自ら署名又は押印できる場合は、本人の欄へ
の記入をお願いします。

同意書

(学校・サポート機関名)

様

(氏名) の「サポートファイル」に記載されている個人情報
を関係機関へ提供し及び関係機関において活用すること(並びに関連する情報
を貴機関において収集すること)に同意いたします。

ただし、その提供は、提供しようとする機関ごとに本人並びに保護者の了承を
得るものとし、本人及び保護者への支援に資する目的に限るものとします。

年 月 日

保護者住所：

保護者氏名：

(氏名を自署してください。)

本人住所：

本人氏名：

(氏名を自署してください。)

※ 本人が成人(満18歳以上)で、かつ、自ら署名又は押印できる場合は、本人の欄への記入をお願いします。

このファイルに関するお問い合わせ

〒422-8006

静岡市駿河区曲金五丁目3番30号

静岡市発達障害者支援センター「きらり」

電話 054-285-1124

FAX 054-285-1125

<http://www.shssc.jp/>

〒420-8602

静岡市葵区追手町5番1号

静岡市 保健福祉長寿局 健康福祉部 障害福祉企画課

電話 054-221-1198

FAX 054-221-1494